

# がん遺伝子パネル検査に必要な病理組織検体について

昭和大学病院 がんゲノム医療センター

「がん遺伝子パネル検査」には病理組織検体が必要です。下記の①～③を送付いただけますようお願い申し上げます。

## ① パネル検査用 病理組織検体 ((1) または (2))

### (1) FFPE ブロック

- ・必ず返却いたしますが、検体が少量の場合には使い切ってしまう可能性があります。

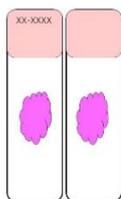
検体消失の可否については③の情報提供書の該当欄にチェックして下さい。

### (2) HE 標本 2 枚 + 未染標本 FoundationOne、NCC オンコパネル：5 $\mu$ m $\times$ 10 枚

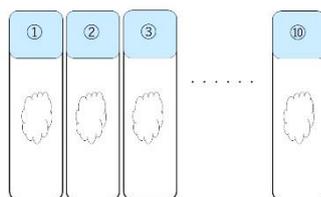
GenMineTOP：5 $\mu$ m $\times$ 16 枚 もしくは 10 $\mu$ m $\times$ 8 枚

- ・いずれも返却はいたしません。
- ・HE 標本は、1 枚は当院用（腫瘍量の評価・検査適格性の判定に使用）、1 枚は検査提出用です。1 枚のみ貴院での病理番号を記載して下さい。
- ・未染標本はノンコートガラスを使用し、1 ガラスに 1 切片のみとし、薄切順の通し暗号をスライドガラスに記載して下さい。貴院での病理番号の記載は不要です。

〈HE 標本〉



〈未染標本〉



## ② ①に関する病理診断報告書および切り出し図のコピー

## ③ 病理組織検体に関する情報提供書

## ★ がん遺伝子パネル検査に用いる腫瘍組織検体の条件

- ・原則として直近に採取した検体（原則検体採取から 3年以内、転移巣も可）
- ・固定液：10%中性緩衝ホルマリン
- ・固定時間：原則 48時間以内（72時間まで許容）
- ・酸脱灰不可（EDTA 脱灰は可能）
- ・腫瘍組織の大きさ：FoundationOne 25mm<sup>2</sup>以上、NCC オンコパネル、GenMineTOP 16mm<sup>2</sup>以上
- ・腫瘍細胞比率：30%以上を推奨（最低 20%以上）
- ・未染標本は作製（薄切）後 1か月以内

- ・FFPE ブロック、HE 標本、未染標本の保存は常温で構いません。
- ・腫瘍組織（表面積）が小さい（FoundationOne: 25mm<sup>2</sup> 未満、GenMineTOP: 16mm<sup>2</sup> 未満）の場合、切片の合計体積が FoundationOne: 1mm<sup>3</sup> 以上、GenMineTOP: 1.3mm<sup>3</sup> 以上になるように未染標本の枚数を追加して下さい。
- ・当院で検体量不足と判断した場合には、未染標本の追加送付依頼や検査の変更等をご相談させていただきます。

### 【標本作製時の注意点】

- ・薄切の際は、必ずマスク、帽子、手袋、ガウンを着用（それぞれ新たなディスポーザブル製品を使用すること）し、マイクロトームの刃を交換して、他検体の混入（コンタミネーション）がないようご配慮下さい。
- ・薄切水槽は十分洗浄してから使用して下さい。水槽の水は症例ごとに新しい水に交換して下さい。ディスポーザブルの容器などを使用することもコンタミネーションを防ぐ方法となります。

### 【送付先・問い合わせ先】

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

昭和大学病院 がんゲノム医療センター がん遺伝子外来

Email: smuh-genome@ofc.showa-u.ac.jp

上記①～③（プレパラートや FFPE ブロックはエア緩衝材で梱包）を「がん遺伝子パネル検査スライドガラス」と明記して、郵送（レターパックまたは特定記録郵便）または宅配して下さい。送料はご負担下さい。